

トランスポーター活性測定装置

機器概要オンラインセミナー

nanji[on]

【動画】
SURFE²R
ウェビナー



誰でも、簡単に、電気生理学実験を。

RI 標識を必要としないトランスポーター測定システムのご紹介



SURFE²R N1

貴大学向けに実機を使った
オンサイトデモを予定しております。

- Solid Supported Membrane (SSM, 固定化膜標本) を用いてトランスポーター電流を直接測定
- 生体膜から調製した膜断片だけで実験可能
- 目的の膜タンパク質を再構成したプロテオリポソームでも実験可能
- 光刺激可能 (オプション)
- 96 ウェル同時測定可能 (SURFE²R 96SE)
- 150 データポイント/日 (SURFE²R N1)
- 10,000 データポイント/日 (SURFE²R 96SE)

セミナー概要

セミナー開催日時 2024年 **8月27日** (火) **14:00 ~ 15:00** 頃 (予定)

<https://forms.gle/suTD8h1YA7BuTaCh8>

セミナー事前登録 URL ※本セミナーへのご参加は事前登録制となりますので、
8月27日 (火) 12:00 迄に上記 URL より事前登録をお願いいたします。

ナニオンテクノロジーズは、ドイツミュンヘンに本社を置く電気生理学実験の自動化を専門とする理化学機器メーカーです。業界トップシェアの自動パッチクランプシステムをはじめとして、トランスポーター測定システム、平面脂質二分子膜・リポソーム作製システム、iPS 細胞由来心筋細胞のインピーダンス・細胞外電位・収縮力測定システムをラインアップとして取り揃えております。本セミナーでは、トランスポーター測定システムをご紹介します。

現在、トランスポーターの活性評価方法としては、RI 標識された基質の取り込みアッセイが主流となっているが、専用の実験施設が必要になる、煩雑な廃液処理が必要になる、目的の基質が必ずしも RI 標識されて市販されているわけでない、取り込み後のエンドポイントを測定している、等といった問題点も存在している。

今回紹介する SURFE²R (Surface Electrogenic Event Reader) テクノロジーは、RI 標識を必要とせず、専用の実験施設や廃液処理も必要なく、起電性トランスポーターであればリアルタイムに活性を評価することが可能です。

SURFE²R テクノロジーの原理からその歴史、実際の測定例までをご紹介します。

本セミナーに関するお問い合わせ

nanji[on] ナニオンテクノロジーズジャパン株式会社

(東京ラボ) 〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
TWIns3F MIL (東京女子医科大学内)

TEL : 03-6457-8773 | Email : info@nanion.jp

Web : <https://www.nanion.de/>

イプロス製品サイト : <https://www.ipros.jp/company/detail/2088578/>